

解説 1

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 〈語句〉とは、〈語〉と〈句〉を合わせた意味のことばです。
- ひとつひとつの単語を〈語〉ともいいます。
- 2つ以上の〈語〉がつながって意味を持つものを〈句〉といいます (ただし、厳密ではない)。
- 例えば、
- I eat an apple every morning. 「私は毎朝リンゴを1個食べます。」
- この文では、〈語〉は、ひとつひとつの単語のことなので、6つあります。
- 〈句〉は、2つ以上の語がつながって意味を持つもので、この文の中には
an apple 「1つのリンゴ」と、every morning 「毎朝 (に)」の2つがあります。
- 【重要】英文は、語句から成り立っています。
- 英文を読むときには、意味のまとまりである〈句〉にとくに注意しましょう。
- 英文は語句から成り立っていますが、英文が文法的に成立するためには、語句の並び順が重要です。
- 上の例文において、先頭の語のIを〈主語〉といいます。日本語の「～は、～が」にあたります。
- 【重要】品詞的にいうと、主語は必ず〈名詞〉(または〈代名詞〉)です。
- 名詞とは、人、もの、ことを表すことばです。
- 例：mountain 「山」、dream 「夢」、you 「あなた (代名詞)」、this 「これ (代名詞)」
- 上の例文の、主語のIに続くeatを〈(述語) 動詞〉といいます。
- 品詞的にいうと、動詞は当然、動詞です。
- 動詞とは、主語の動作や状態を表すことばです。日本語の「～する、～である」にあたります。
- 例：run 「走る (動作)」、sing 「歌う (動作)」、know 「知っている (状態)」
- 【重要】ふつうの英文 (ピリオドで終わる英文) は、その多くが、〈主語+動詞〉で始まります。
- 動詞のあとに何の語句がくるか (あるいはこないか) は、動詞によって変わってきます。

A 演習 1 : 基本問題

英文の〈動詞〉をスラッシュ (/) で挟み、さらに英文全体を和訳しなさい。

例 I / eat / an apple every morning.

「私は毎朝リンゴを食べます。」

1. You know his name.

「

2. They are my teachers.

「

演習 1 : 解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. You / know / his name. 「あなた (あなたたち) は彼の名前を知っている。」 ※動詞は know 「知っている」。その前の You が主語で、代名詞。
2. They / are / my teachers. 「彼らが私の先生たちだ。」 ※動詞は are 「～である」。その前の They が主語で、代名詞。

解説 2

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

□ I eat an apple every morning. 「私は毎朝リンゴを1個食べます。」

□ この例文の、動詞 eat に続く an apple を、動詞の〈目的語〉といいます。

動詞 eat 「食べる」のターゲット (「対象・目的」という意味で、

日本語の「～を」や「～に」にあたります。

□ 【重要】品詞的にいうと、目的語は必ず〈名詞〉(または〈代名詞〉)です。

次に、似たような意味の例文を2つ、見てみましょう。

□ This book is heavy. 「この本は重い。」 -①□ This is a heavy book. 「これは重い本だ。」 -②

①の例文では、主語は This book (名詞句)、動詞は主語に続く be 動詞の is です。

この動詞のあとには、heavy 「重い」という〈形容詞〉がきています。

□ 【重要】形容詞とは、名詞を形容(修飾)することばです。

この例文では、形容詞 heavy は、主語の This book を後ろから修飾(形容)しています。

②の例文では、主語は This (名詞)、動詞は主語に続く、同じく is です。

この動詞のあとには、a heavy book 「重い本」という名詞(句)がきています。

この句において、形容詞 heavy は、名詞 book を前から修飾しています。

□ これら2つの例文の、is に続く語句を、主語の内容を「補う」意味から、〈補語〉といいます。

□ 【重要】be 動詞に続く語句は、補語として、主語の意味を補います。

つまり、内容的に〈主語 = 補語〉が成立します。上の2つの例文では、

This book = heavy、This = a heavy book ということです。

□ ちなみに、内容的に〈主語 = 目的語〉は成立しません。一番上の例文では、I ≠ an apple です。

B 演習 2 : 基本問題 下線部が目的語か補語かを指摘し、さらに英文を和訳しなさい。

1. My father's car is red. (目的語 ・ 補語)

「

」

2. I drink a glass of milk every night. (目的語 ・ 補語)

「

」

演習 2 : 解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. 補語「父の車は赤い。」 ※ be 動詞に続き、主語の My father's car を修飾(形容)するので、補語となる形容詞。内容的に、My father's car = red が成立する。

2. 目的語「私は毎晩グラス1杯の牛乳を飲む。」 ※ 動詞 drink 「飲む」の対象(目的)を表すので、目的語。内容的に、I ≠ a glass of milk である。

年 組 番 氏名

実施日 年 月 日

A	/2
B	/2

検印

解説 3

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 【重要】〈主語〉、〈(述語) 動詞〉、〈目的語〉、〈補語〉の4つを〈文の要素〉といいます。

これらの並び順が正しくないと、文法的に英文が成立しないからです。

では、それ以外の部分は何でしょう。もう一度、例文を見てください。

- I eat an apple every morning. 「私は毎朝リンゴを1個食べる。」

- この文における every morning 「毎朝」を、〈副詞 (句)〉といいます。

- 【重要】副詞は、名詞以外のものを何でも修飾します (名詞を修飾するのは形容詞だけです)。

この文では、「毎朝食べる」という意味ですから、動詞 eat を修飾していると考えます。

- 副詞は〈文の要素〉ではありません。副詞がなくても英文は文法的に成立するからです。

cf. □ I eat an apple. 「私はリンゴを1個食べる。」

- また、副詞にとって並び順は重要ではありません。

上の例文では、副詞 (句) を文頭にもってきても、英文の意味はほとんど変わらないのです。

cf. □ Every morning I eat an apple. 「毎朝私はリンゴを1個食べる。」

- 【重要】副詞は、〈場所〉、〈時〉、〈理由〉、〈方法〉、〈様子〉など、さまざまな内容を表します。

- 【重要】4つの〈文の要素〉とそれぞれに対応する品詞、それに副詞を加えて理解することは、英文法学習の出発点であり、英文を読む限り必要になるものです。常に意識してください。

C 演習 3 : 基本問題 意味のまとまりごとにスラッシュで区切り、さらに全体を和訳しなさい。

1. In America, school buses are yellow.

「

」

2. I play soccer after school every day.

「

」

3. School begins in September in the United States.

「

」

4. My mother is a nurse at the hospital.

「

」

演習 3 : 解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. In America, / school buses / are / yellow. 「アメリカでは、スクールバスは黄色い。」 ※ In America は場所を表す副詞句、school buses は主語 (必ず名詞)、are は be 動詞、yellow は補語 (形容詞)。

2. I / play / soccer / after school / every day. 「私は毎日放課後にサッカーをする。」 ※ I は主語 (必ず名詞)、play は動詞、soccer は目的語 (必ず名詞)、after school は時を表す副詞句、every day は時を表す副詞句。

3. School / begins / in September / in the United States. 「アメリカでは学校は9月に始まる。」 ※ School は主語 (必ず名詞)、begins は動詞 (三単現形)、in September は時を表す副詞句、in the United States は場所を表す副詞句。

4. My mother / is / a nurse / at the hospital. 「私の母は、その病院の看護師である。」 ※ My mother は主語 (必ず名詞)、is は動詞、a nurse は補語 (名詞)、at the hospital は場所を表す副詞句。

D 演習 4 : 基本問題 意味のまとまりごとにスラッシュで区切り、さらに全体を和訳しなさい

1. This restaurant opens at 9:00 a.m.
「
」
2. My grandmother works from Monday to Friday.
「
」
3. This shop sells many kinds of 100-yen goods.
「
」
4. We arrived at Tokyo Station early in the morning.
「
」
5. My sister is very kind to me.
「
」
6. Japan is a rich country.
「
」
7. I play catch with my father every weekend.
「
」

演習 4 : 解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. This restaurant / opens / at 9:00 a.m. 「このレストランは午前 9 時に開店する。」 ※ This restaurant は主語、opens は動詞 (三単現形)、at 9:00 a.m. は時を表す副詞句。
 2. My grandmother / works / from Monday to Friday. 「私の祖母は月曜日から金曜日まで働く。」 ※ My grandmother は主語、works は動詞 (三単現形)、from Monday to Friday は時を表す副詞句。from A to B 「A から B へ」。
 3. This shop / sells / many kinds of 100-yen goods. 「この店は 100 円商品の多くの種類を売っている。」 ※ This shop は主語、sells は動詞 (三単現形)、many kinds of 100-yen goods が目的語 (必ず名詞)。
 4. We / arrived / at Tokyo Station / early in the morning. 「私たちは朝早くに東京駅に着いた。」 ※ We は主語、arrived は動詞 (過去形)、at Tokyo Station は場所を表す副詞 (句)、early in the morning は時を表す副詞 (句)。
 5. My sister / is / very kind / to me. 「私の姉 (妹) は私にとっても親切だ (やさしい)。」 ※ My sister は主語、is は動詞、very kind は補語 (形容詞)、to me は場所 (向き) を表す副詞。なお、very は形容詞 kind を修飾する副詞だが、very kind の句全体は形容詞となる。
 6. Japan / is / a rich country. 「日本は裕福な国だ。」 ※ Japan は主語、is は動詞、a rich country は補語 (名詞)。
 7. I / play / catch / with my father / every weekend. 「私は毎週末、父と一緒にキャッチボールをする。」 ※ I は主語、play は動詞、catch は目的語 (必ず名詞)、with my father は〈随伴〉を表す副詞 (句)、every weekend は時を表す副詞 (句)。
- 【重要】前置詞と、それに続く名詞とがつくる意味のまとまりは、副詞句と考えるといいでしょう。

年 組 番 氏名

実施日

年

月

日

C	/4
D	/7

検印